

- ### 緩和ケアの充実に関する事業
- 常設患者サロンの設置
  - がん相談対話外来の開設
  - 拠点病院、準拠点病院への緩和ケア支援
  - 医療職への緩和ケア研修
  - 介護福祉職、事務職 への緩和ケア研修
  - ボランティアの養成研修

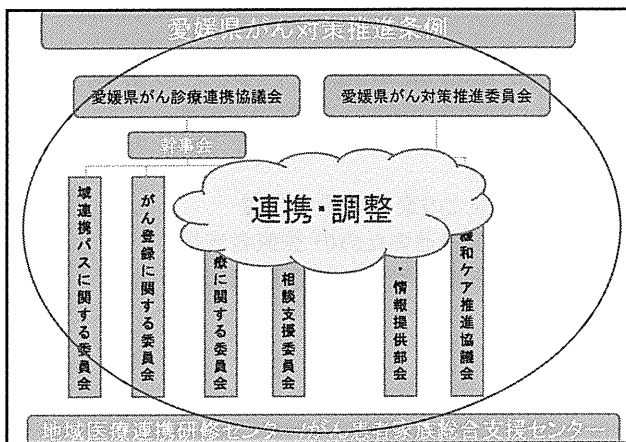
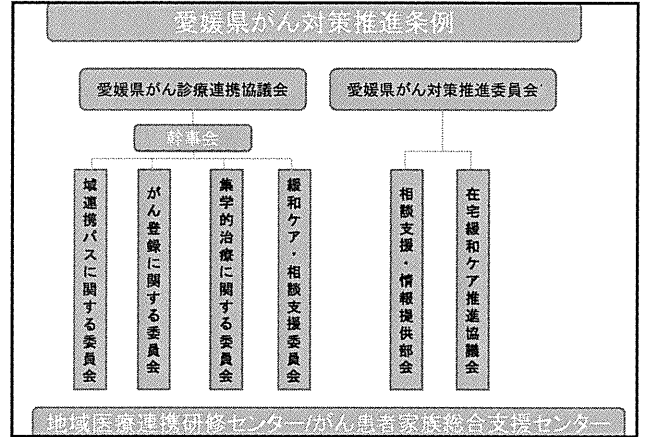
- ### 在宅医療の推進に関する事業
- がん患者のデイホスピス、ショートステイの実施、活動支援
  - 介護福祉との交流の場の設置
  - 在宅医療推進のための 医療者支援
  - 愛媛県在宅緩和ケア 推進協議会との協働

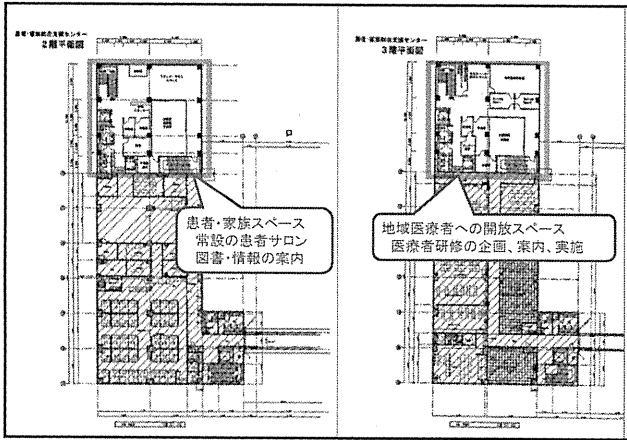
### がん医療の水準向上に関する事業

- がん医療連携研究開発室の設置
- 医療連携基盤の整備、拡充
- 連携コーディネーターの育成
- 全国の医療連携室 連絡協議会との共同
- 愛媛県医師会との協働

### がん登録の推進に関する事業

- 愛媛県地域がん登録室の拡充
- 地域拠点病院のがん登録室の拡充
- 準拠点病院のがん登録をサポート





## 施設整備、人材の確保

項目	23年度(6ヶ月)	24年度	25年度
施設整備・備品整備			
施設整備費		700㎡	
備品・調度品		1式	
パソコン等	10台	10台	
携帯用自家用車	1台	1台	
通信費、電話・光熱水量	1式/年	1式/年	1式/年
雑務費(コピー、資料作成等)・消耗品費	1式/年	1式/年	1式/年
会議費	2-10回/年	5-12回/年	5-12回/年
研修費、出張旅費	2-10回/年	5-10回/年	5-10回/年
講師謝金、講師交通費	0-10回/年	5回/年	5回/年
人件費			
管理者	1人	1人	1人
エキスパート看護師	1人	1人	1人
ピアカウンセラー	0-1人	1人	1人
MSW	1-2人	2-6人	2-6人
看護師(現地サポート、派遣)		2-10人	2-10人
診療情報管理士(運搬バス、がん登録)	1-2人	2-14人	2-14人
事務員	1-2人	1-3人	1-3人

がん患者家族総合支援センター施設整備費 260,000千円

地域医療再生計画(案)対象事業一覧

項目	加算額を伴う計画		基礎額(15億円)の計画	
	所要経費	うち基金負担額	所要経費	うち基金負担額
1. 企業的な救命救急及び高度・専門医療提供体制の強化	4,066,000	2,032,500	2,085,000	727,000
1-1 三次救急病院の救命救急・高度専門医療機能強化	3,531,000	1,765,000	2,031,000	700,000
1-2 県立中央病院、県立新宿病医院、市立宇和島病院の施設設備整備				
2 県立病院救急機能強化事業	430,000	215,000	0	0
2-1 県立宇和島病院、県立宇和病院内の拡充設備整備				
3 ドクターヘリの運航体制強化事業	105,000	52,500	54,000	27,000
3-1 ヘリポートの新設・改良に必要な経費を市町へ補助				
2. 患者・家族の視座に立ったがん対策の推進	1,031,100	703,850	623,250	216,000
4 在宅緩和ケア推進モデル事業	136,550	131,550	90,700	85,700
4-1 (地域医療連携の推進調査と人材育成・生活支援等のモデル事業実施)				
5 町なかがん患者サロン運営事業	17,400	17,400	17,400	17,400
5-1 (県立中央病院がん患者サロン運営事業)				
5-2 (県立宇和島病院がん患者サロン運営事業)				
6 がん患者・家族総合支援センター整備事業	477,150	354,900	315,150	72,900
6-1 (四国がんセンターが中心、緩和ケアの充実、在宅医療の推進、医療水準の向上等の取組を支援)				
6-2 (県立宇和島病院が中心、緩和ケア/生活支援を支援)	400,000	300,000	268,000	40,000
6-3 (東、南予地域の医療機関が中心、緩和ケア/生活支援を支援)				
3. 地域の特長・ニーズを踏まえた地域医療連携の取組	207,714	170,000	207,714	170,000
合計	5,000,850	3,478,272	3,512,024	1,504,058

## 愛媛県がん対策推進条例の概要

〇「愛媛県がん対策推進条例」は、このような内容です。

### 〇県、市町、保健所関係者、関係団体の役割

- 県・保健所の役割に協力を要請します。
- 市町：がんの予防及び早期発見に向け取り組むよう努めます。
- 関係機関関係者：がんの予防及び早期発見に向けた啓発活動とがんに関する正しい知識を普及させ、がんの予防及び早期発見ががん対策の推進に努めます。

### 〇緩和ケアの充実

緩和ケアの充実のために、専門知識などを持つ医療従事者の育成、研修の充実等からのがん患者の対応に力を入れた緩和ケアの推進などに努めます。

### 〇がんの予防と早期発見の推進

がんを予防するため、正しい知識の普及啓発や検診受診を奨励します。

### 〇がん患者のケア

がん患者が安心してがん治療を受けられるための体制の整備に努めます。

### 〇がん登録の推進

がん対策を効果的に進めるため、がん登録の確率と集約の向上に必要を要請します。

### 〇がん患者の権利の向上

がん患者が安心してがん治療を受けられるよう、がん患者の権利の向上や医療従事者の研修などによるがん治療の水準の向上に努めます。

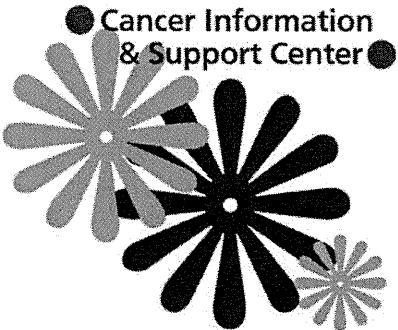
### 〇がん患者などの活動の支援

がん患者の活動の支援、がん患者などの健康を促した活動の推進に努めます。

### 〇がん患者の生活の支援

病、療養、療養生活支援者、がん患者などの関係者が連携して、総合的ながん対策を推進することを目指します。

# Memo



Horizontal lines for writing a memo.

演題 3

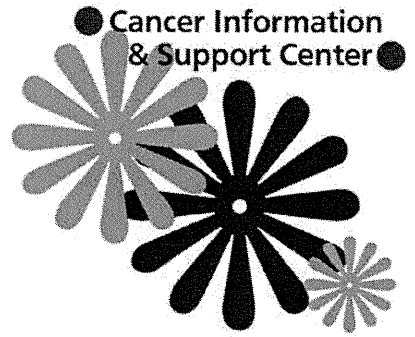
青森県の広報の方法と  
冊子等の情報の管理



秋庭 聖子

青森県立中央病院

# Memo



演題 4

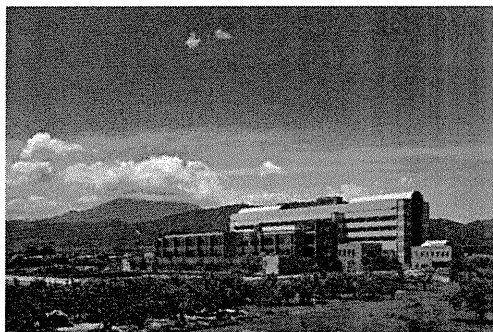
緩和ケア・がん相談支援センター  
の紹介



横川 史穂子

長野市民病院

### 緩和ケア・がん相談支援センターの紹介



長野市民病院 横川史穂子

### 長野市民病院の概要

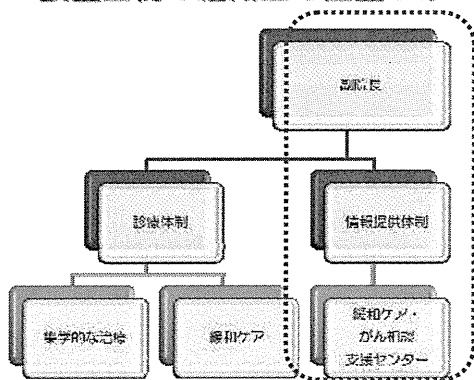
病床数 400床  
 年間入院患者数 約7500人  
 そのうちがんで入院される方 約2300人

平成19年2月  
 地域がん診療連携拠点病院  
 に指定される

平成19年11月  
 緩和ケア・がん相談支援センター設置  
 配属 看護師1名

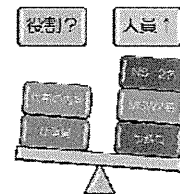


### 設置当初の組織上の位置づけ



### 現在の人員の配置状況

- ・相談員基礎研修(3)受講済 4名
- 専従の常勤看護師 1名
- 専従の常勤MSW 1名
- 兼任の常勤看護師 1名
- 兼任の常勤MSW 1名
- ・事務員 1名





## 人員を確保するためのアセスメント

### 1. 診療体制 → 現況把握、報告書の作成

- ①日本に多い5大がんの治療（連携パスの作成）
- ②セカンドオピニオン機能
- ③緩和ケアの提供
- ④診療支援や他の医療機関との連携  
（ネットワークの立ち上げ運営）

機能的  
事務局

### 2. 研修体制 → 企画、運営

- ①地域のかかりつけ医などを対象に早期診断
- ②緩和ケアなどに関する研修会の実施

### 3. 情報提供体制 → 具体的な活動の明確化

- ①相談支援機能 → 早期からの緩和ケアの提供  
連携パス運営への関与

②がん登録

## 院内のがん診療連携拠点病院体制への参入

### 機能的な事務局運営

- 1.がん治療委員会  
《下部組織の小委員会》
- ・化学療法小委員会
- ・がん教育小委員会
- ・緩和ケア小委員会
- ・北信がん診療緩和  
ケアネットワーク  
以上の事務局
- 2.がん寺子屋勉強会など  
各種教育研修の企画と運営

### 情報提供体制の明確化

- 1. 早期からの緩和ケアの  
提供を意識した支援
- ・がん総合相談・情報提供
- ・ストレスに対する  
自立支援
- ・がん患者様方との協働と  
ボランティアの  
コーディネート
- ・がんに関する  
地域連携支援

## 人員を配置してもらうための2つ戦略

機能的な  
事務局運営

情報提供体制の  
活動の明確化

副院長を通じて  
管理会議へ提案

## 1. がん総合相談・情報提供の現状

- ✦ 年間相談件数 1,616件
- ✦ 初回 31% 2回目以上 66%
- ✦ 利用者は患者・家族・遺族

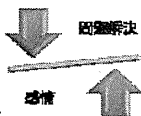


- ⇨ 院内は病棟や外来、外来治療センターからの紹介
- ⇨ 他院はホームページやパンフレットを見たという場合が多い
- ⇨ 相談の内容では「退院後の生活について」が大半を占めている

## 2. ストレスに対する精神的な自立支援

<相談支援の軸>

日々の相談場面や様々な活動の中で…  
 この2つの視点で関わる



情動志向的な支援

- 感情を発散させ情緒的苦痛を減らす支援  
 ⇒ (サロンのピアサポート)

問題解決的な支援

- ストレスな状況の問題を客観的に分析し解決策を見いだしていく  
 ⇒ (がん教室)

## 3. がん患者様との協働と ボランティアのコーディネート現状

- がん・すまいるサロン  
 -毎週木曜日 11:00~15:00 開催-

- がん教室  
 -年2回 開催-

- サロンで話題になる  
 会話のから…
- 1.治療中の食事について
  - 2.サプリメントについて



## 3. がん患者様との協働と ボランティアのコーディネート現状

- お楽しみサロン  
 自分の趣味を他の人のために活かして…  
 帽子を作る

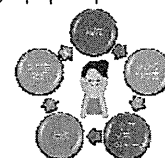
- 患者会との協働  
 年4回開催されるストーマの患者会  
 (オアシスの会) の支援

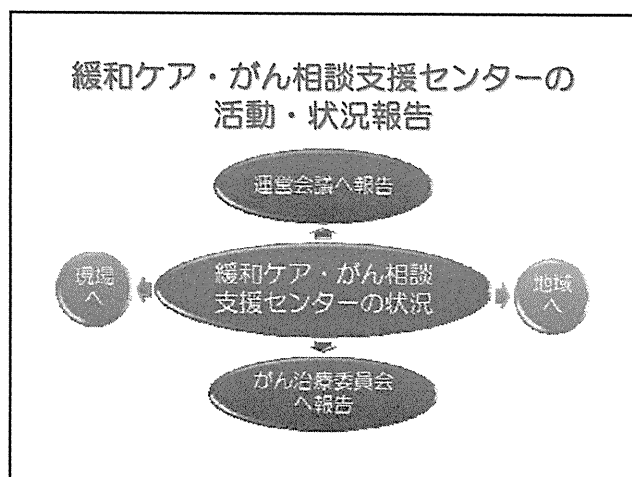
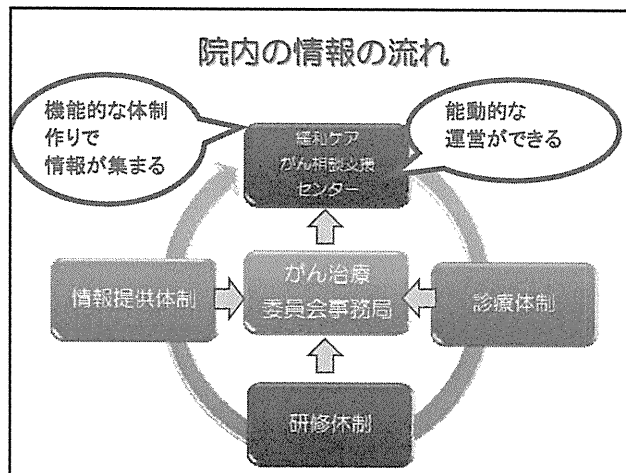
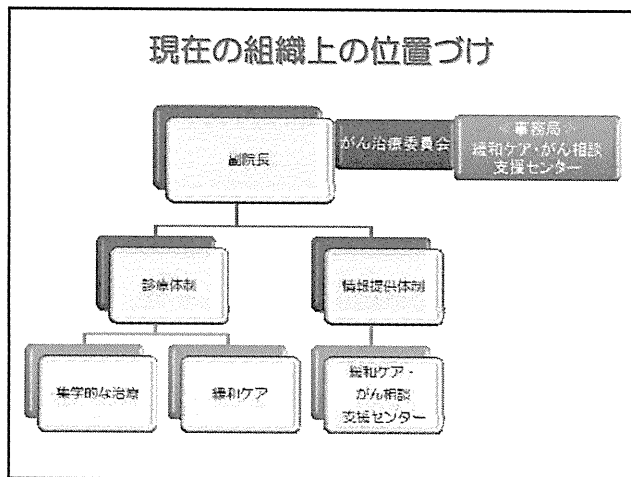
- 趣味の園芸で元気づけたい
- マッサージのボランティア



## 4. がんに関する地域連携支援の現状

- 在宅支援やホスピスの紹介とコーディネート
- 訪問看護など地域の医療者の相談
- がんの連携パスの説明
- 地域のがん診療・緩和ケアネットワークの構築





演題 5

**(患者会)**  
**自分を取り戻す活動サポート**



清水 奈緒美

神奈川県立がんセンター

### (患者会)自分を取り戻す活動サポート

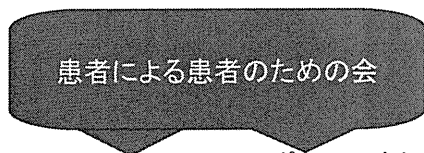
神奈川県立病院機構  
神奈川県立がんセンター  
医療相談支援室  
清水奈緒美

### 本日のお話

- 患者会「コスモス」の活動の紹介
- 医療相談支援室における活動支援の実際

### 患者会「コスモス」の経緯

- 1990年代 患者が集って語り合う会  
かながわ・がんQOL研究会が支援



患者会を立ち上げた  
伊藤篤子さんのポリシー

サポートしてきた  
かながわ・がんQOL研究会  
が大切にしてきたこと

### 患者による患者のための会 患者会「コスモス」

- 1990年代 患者が集って語り合う会  
かながわ・がんQOL研究会が支援
- 2003年 患者会「コスモス」  
任意で看護師が支援
- 2008年 医療相談支援室が支援
- 現在 「コスモス」10周年の年

財団法人日本対がん協会  
研究成果普及啓発事業研究成果発表会

「患者の声に耳を澄ます」  
～患者会と医療相談支援～  
研修会 報告集より

## がん患者と患者会

- 「自分の心配や不安は、がんをやったものな  
くではわからない」
- 再発・転移への不安
- 患者の先輩:「まだがんの初心者だね」「みん  
な通ってきた道だよ」
- 辛かったのは自分だけではない。仲間がいる。

「患者の声に耳を澄ます」  
～患者会と医療相談支援～  
研修会 報告集より

## 世話人として心がけていること

- 何かをしてあげようとは思わない
- いのちと向き合う人たちに、「何をしてもらおう  
かしら」と自然に考えている
- 人は必要とされたときに、生きてると実感  
が持てると思う

「患者の声に耳を澄ます」  
～患者会と医療相談支援～  
研修会 報告集より

## クリスマス会での出来事

- 「クリスマス会なんて、もういきたくない。私が食  
べられるものなんて出てこない。」
- 「一品くらい食べられるはずよ。それは全部あな  
たが優先的に食べていいから来てください。そし  
て、幹事になってほしい」「あなたが年上だから、  
挨拶してくれたら、会が締まるわ」
- おしゃれに着物を着こなし、挨拶を見事に
- 心をこめて言ったお礼への笑顔が忘れられない

「患者の声に耳を澄ます」  
～患者会と医療相談支援～  
研修会 報告集より

### 患者会の活動が 可能にしている事柄

- 1)「他者との類似性」の発見によって、大切な繋がりを得ること
- 2)感情を表出することで、コーピングの改善と、孤立から逃れること
- 3)がん、死ぬこと、孤独、無意味さなどはプロセスであって、結果ではないことを学ぶこと

### 患者会「コスモス」定例会

- ・ 毎月 第2月曜日 14時—16時
- ・ 神奈川県立がんセンター 講義室

### 患者会 コスモス 分科会

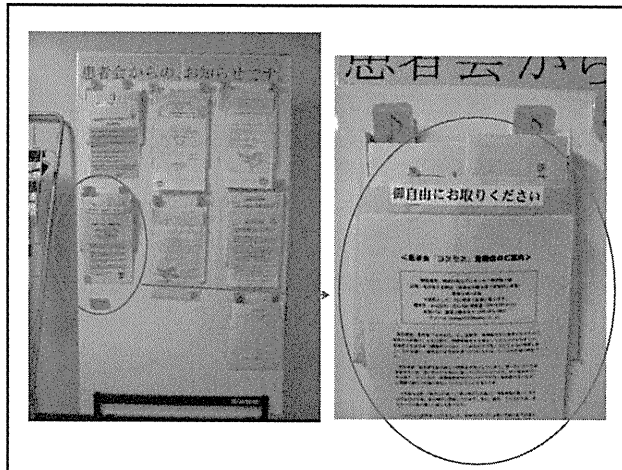
- ・ 乳癌の患者会(Nの会)
- ・ 婦人科癌の患者会(FCの会)
- ・ 家族の会(Fの会)
- ・ 遺族の会(Iの会)
- ・ サタディコスモス(平日参加が難しい患者の会)
- ・ ひとりでがんばっている人の会

### サークル活動および行事

- ・ やさしいフラダンスの集い
- ・ 五行歌の集い
- ・ 歌の集い
- ・ 絵手紙の集い
- ・ 秋を歩こう
- ・ クリスマスリース作り
- ・ やさしい英語と午後ティーの集い
- ・ 箱根一泊ツアー
- ・ 養生園一泊ツアー など

### 医療相談支援室の支援

- 定例会の場所の確保(院内 講義室)
- 患者会の荷物の保管
- 郵便物の受け取りや保管
- コピー機の利用
- 患者会活動の広報



### 医療相談支援室の支援

- 定例会の場所の確保(院内 講義室)
  - 患者会の荷物の保管
  - 郵便物の受け取りや保管
  - コピー機の利用
  - 患者会活動の広報
  - 研修会の希望が出た際の、講師の手配
  - 定例会にできるだけ同席
- 参加者に、相談員の対応が必要な方がおられた場合の対応

### たとえば・・・

- 家族(親)が患者会に参加
- 成人している子供ががんにあって、厳しい状況にあると聞いた
- ちっとも治療してくれていないようだ
- いつになったら治療してくれるのだろう・・・



相談室での相談へ



### 相談対応

- 癌腫、病状、治療の経過などの語りから、これ以上の積極的な癌治療が困難な状況にあることが十分に推測された
- しかし、患者さんが一人で病状や治療方針を聞いて、家族に説明していた
- 家族は、治療すれば治るものと考えていた

### 相談対応

- 一般的な情報
- 固形癌の再発転移を、抗がん剤で治すことは難しい
- 抗がん剤治療は、無限ではない
- 抗がん剤は、体の状況によって、できないこともある
- でも、なにも治療がない、ということはどんなときも決してない。緩和医療は重要
- 家族が希望するなら、医師は家族だけに会って説明をしてくれる

### 相談対応

できるだけ  
心配をかけたくない  
と思っておいでなので  
しょうね・・・

一人でがんばって  
きたのだと思います。  
やさしい子なんです。  
今日お話を聞いて  
何をすればよい  
かわかった気が  
します。

### (患者会)自分を取り戻す活動サポート

- 患者・家族の体験を知り、学ぶこと
- 患者会の運営にあわせて、会が主体的に行おうとしている活動に、できることは最大限協力すること
- 患者会の支援の在り方と、相談員の支援の在り方は異なり、双方が必要。
- 相談員の対応が必要なときに、力が発揮できるような体制と準備

## 参考に

### 神奈川県立がんセンターの概要(H22年度)

- 病床数:415床  
(緩和ケア病棟14床、ICU6床、無菌病棟20床)
- 都道府県がん診療連携拠点病院
- 昭和61年がんセンターに名称変更
- 入院延患者数 115,136人
- 外来延患者数 170,524人
- 平均在院日数:14.9日
- 外来がん化学療法件数:11,746件
- 平成21年度より地方行政独立法人化



### 医療相談支援室の概要

- 平成18年4月 「地域医療連携室」として開設
- 平成20年4月 「医療相談支援室」に名称変更
- 業務内容
  - 受付業務 受診受付 セカンドオピニオン受付など相談業務
  - 受診相談、療養場所の相談、症状や治療に関する相談など
  - 医療連携業務
  - 在宅療養、転院調整などの医療連携に関する調整など

### 医療相談支援室の職員

- 室長(看護師)
- 看護スタッフ 常勤2名  
非常勤1(9時～16時)名
- MSW 常勤2名
- 事務クレーク3名
- 事務 非常勤1名

演題 6

**患者の視点に立った相談支援業務  
の取り組み**



石田 リツ子

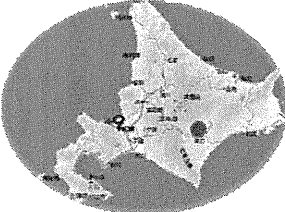
JA 北海道厚生連 帯広厚生病院

## 患者の視点に立った 相談支援業務の取り組み

JA帯広厚生病院  
がん相談支援員 石田リツ子

1

### 十勝・帯広の紹介



十勝の広さは約10831km<sup>2</sup>で東京都より若干狭く 人口は353211人  
帯広は十勝の中核の地方都市です  
人口は約175000人です。  
牧歌的な環境でスローライフを楽しむにはとても良い環境です。



2

### JA帯広厚生病院の紹介

1. 病床数 748床
2. 標榜科 21科
3. 医師数 140人
4. 看護師数 749人
5. 平均在院日数 16～17日
6. 平成21年度診断症例腫瘍データー 部位別集計  
総件数 1331件

#### 地域がん診療連携拠点病院の活動

1. 当院は平成17年に指定をうける
2. 平成20年に専従相談員を配置
3. 地域がん診療連携拠点病院運営委員会 年2回 開催
4. 上記の作業部会 業務推進会議を 月1回 開催

3

### がん相談支援センター





4